

主 題：
ノア、ダニエル、ヨブ——
命の路線において勝利を得る生活をして
神のエコノミーを成就する模範

標 語

ヨブ記は、聖書の六十六巻がただ一つのこのためであることを啓示しています。それは、神がキリストの中で、その霊によって、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの命、性質、すべてとなり、わたしたちがキリストを生き、キリストを表現することです。これはわたしたちの生涯を支配する原則であるべきです。

ノアは神を信じ、神と共に歩み、神を喜ばせ、神であるすべてを享受しました。

団体のキリストは、石と山、花婿と花嫁、神の息を持つ神の団体の人であり、彼の口から出る息、剣によって反キリストとその軍隊を砕き、殺します。

神はキリストの中で、人の中へと構成され、人は神の中へと構成され、神と人は共にミングリングされて一つの実体となりました。それは神・人と呼ばれています。

時代のビジョンにしたがって生活し働いて時代を変える

聖書：エゼキエル 14:14, 20. 創 6:8. マタイ 24:37-39.

ダニエル 2:34-35. ヨブ 42:5-6

- I. ノア、ダニエル、ヨブは模範であって、わたしたちがどのようにして命の路線において勝利を得る生活をして、神のエコノミーを成就することができるかを啓示しています。これは時代のビジョンにしたがって生活し働いて、時代を変えることです——エゼキエル 14:14, 20. 創 2:9. 啓 2:7. 22:1-2. マタイ 24:37-39, 45-51. ダニエル 2:34-35. 使徒 26:19. II テモテ 4:8。
- II. ノア、ダニエル、ヨブの生涯は、三一の神がご自身を彼の選ばれ贖われた民の中へと分与し、造り込んで、彼の永遠のエコノミーを成就することを啓示しています。全聖書は支配する原則にしたがって書かれました。その原則は、三一の神がご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちが彼を経験し、享受し、表現して、彼の神聖なエコノミーを完成させるということです——参照、I テモテ 1:3-4. エペソ 3:2. I ペテロ 4:10. 詩 36:8-9. II コリント 13:14. エペソ 3:16-19:
- A. ノアにおいて、わたしたちが見るのは、父なる神が彼の永遠の契約(虹によって表徴される)を守ることにおいて信実であるということです。彼の永遠の契約は、彼の永遠のエコノミーであって、すべてを含むキリストを義、聖、栄光として彼の選ばれた民の中へと分与して、彼らをキリストが何であるかのすべてについての知恵ある展覧とならせることです——創 3:24. 9:8-17. エゼキエル 1:26-28. 36:22-38. マタイ 26:28. ヘブル 8:8-12. I コリント 1:9, 24-30. 2:9-10. エペソ 2:10. 5:25-27. 啓 4:3. 21:18-20。
- B. ダニエルにおいて、わたしたちが見るのは、子なるキリストが神の行動の中心性また普遍性であるということ、また神の永遠のエコノミーの目標が、砕く石としての団体のキリスト(キリストと彼の勝利者)を持ち、神の時代の手段とならせてこの時代を終わらせ、それが大きな山となって全地を満たし、全地を神の王国とすることであるということです——ダニエル 2:31-45. 7:13-14. 10:4-9. ヨエル 3:11. 啓 12:1-2, 5, 11. 19:7-21。
- C. ヨブにおいて、わたしたちが見るのは、霊なる神が彼の愛する者たちを聖霊の更新によって造り変えの過程を経過させ、彼らが神を見るときに神を獲得し、神によって造り変えられて、神の心にあるものを遂行して、神格においてではなく、命、性質、現れにおいて神となり、神を団体的に表現

し、神に栄光を得させるということです——ヨブ 10:13． 42:5-6． エペソ 3:9． マタイ 5:8． II コリント 3:16-18． テトス 3:5． I コリント 10:31． エペソ 3:20-21． 啓 21:10-11。

Ⅲ. 「しかし、ノアはエホバの目に恵みを得た」——創 6:8：

A. ノアの生活と働きは、恵みがいかに多くのことを、墮落した人のために行なうことができるかを啓示しています。恵みとは、わたしたちの負担を担う方としてのすばらしいキリストであり、彼はわたしたちの中で、わたしたちの代わりに、わたしたちの享受のためにすべての事を行なってください——1-14 節、マタイ 24:37-39． II コリント 12:7-9：

1. 肉は悪魔の同在であり、恵みは神の臨在です。サタンの同在に直面するためには、神の臨在を必要とします——創 6:3， 8． ローマ 7:17-21． ヘブル 4:16． I コリント 15:10。
2. 恵みの結果は義です。恵みの力、恵みの強さ、恵みの命によって、わたしたちは神に対して、互いに対して、自分自身に対してさえ正しくあることができます——ローマ 5:17， 21． II ペテロ 2:5。

B. ノアは神と共に歩み、箱船を建造して、神聖なエコノミーを遂行しました——創 6:8-22． ヘブル 11:7． I ペテロ 3:20-21． マタイ 16:18：

1. 聖書における神の最初の建造はノアの箱船であり、それは神と人の建造としてのキリストを表徴しています。神の建造は神・人です——ヨハネ 1:14． 2:19． I コリント 3:9， 16-17． 啓 21:2， 22． エペソ 2:22． 詩 27:4。
2. 箱船を建造することは、団体のキリスト、すなわちキリストのからだとしての召会を、建造の材料であるキリストの豊富の要素をもって建造することを予表します——マタイ 16:18． I コリント 3:9-12 前半． エペソ 3:8-10． 4:12。
3. 三階建ての箱船は、三一の神に対するわたしたちの経験にしたがった三一の神を表徴します。その霊は低い階によって表徴され、わたしたちを御子にもたらし(I ペテロ 1:2． ヨハネ 16:8， 13-15)、御子はわたしたちを経験においてさらに高くもたらし、御父へと至らせます(14:6． エペソ 2:18． I ヨハネ 1:5． 4:8)。
4. 箱船の三階にはただ一つの窓があって、天に向いていました。これは、召会、すなわち神の建造には、一つの新約の務めを通して、一つの啓示と一つのビジョンがあるだけであることを表徴しています——創 6:16． 使徒 26:19． 箴 29:18 前半． I テモテ 1:3-4． II コリント 3:6-9． 4:1。

Ⅳ. ダニエル書がわたしたちに見せているのは、わたしたちは時間を贖い取って、神の無上の尊さとしてのキリストを享受しなければならないというこ

とです。それは、わたしたちが彼で構成されて、彼の固有の宝としての尊い人、さらには尊さそのものとさえなるためです——ダニエル 9:23． 10:11， 19． I ペテロ 2:7． 出 19:4-6：

A. 超越したキリストは、彼の無上の尊さの中で、ひとりの人としてダニエルに現れ、彼に評価させ、彼を慰め、励まし、期待させ、堅固にしました——ダニエル 10:4-9：

1. キリストは人性において祭司(亜麻布の^{がいう}外套で表徴される)として現れ、捕囚にある彼の選びの民を顧みしました——5 節前半． 出 28:31-35。
2. キリストは神性において王職(金の帯で表徴される)の中で現れ、すべての民を支配しました——ダニエル 10:5 後半。
3. キリストは彼の尊さと威厳の中で現れ(彼の体が緑柱石のようであることで表徴される)、彼の民に評価させました。「緑柱石」というヘブル語の言葉は、青みがかった緑色あるいは黄色の宝石を指しており、キリストが彼の具体化において神聖で(黄色)、命に満ち(緑色)、天的(青色)であることを表徴します——6 節 a。
4. キリストはまた人を照らすために、輝く明るさの中で現れ(彼の御顔の外観がいなずまのようであることで表徴される——6 節 b)、また探り裁くために、彼の照らす眼光の中で現れました(彼の目が火のたいまつのようなことで表徴される——6 節 c)。
5. キリストは彼の働きと行動の輝きの中で現れました(彼の腕と彼の足が磨かれた青銅の輝きのようであることで表徴される)——6 節 d。
6. キリストは人を裁くために、彼の強い語りかけの中で現れました(彼の言葉の声が群衆の声のようであることで表徴される)——6 節 e。

B. ダニエルが受けた啓示は、全世界の情勢が天の神による天の支配の下にあって、それはあらゆることにおいてキリストに首位、第一位を与えるためであるということです——2:34-35， 44-45． 7:9-10． 4:34-35． コロサイ 1:15， 17-18． 啓 2:4-5。

V. 「その時、エホバは……ヨブに答え」(ヨブ 38:1 前半)、「その時、ヨブはエホバに答え」(42:1 前半)、「エホバはヨブの捕囚状態を元に戻し[ました]」(10 節前半)：

A. ヨブの友人たちの論理は善悪知識の木の路線にしたがっており、彼らはヨブの苦難が神の裁きの事柄であると考えました。しかしながら、ヨブの苦難は神が消耗させることであり、それは神がヨブを獲得し、ヨブがさらに神を獲得するためでした——ヨブ 9:15． 11:12． 13:4． ピリピ 3:8， 12-13：

1. ヨブに対する神の意図は、自分の完全さと正しさにおける天然のヨブを

取り壊し、神の性質と属性において更新されたヨブを神が建て上げることでした——ヨブ 1:1．テトス 3:5。

2. 神の意図は、ヨブをさらに深く神を追い求めることの中へともたすことでした。それは、ヨブが彼の人生の中で欠けているのは神ご自身であることを認識し、彼が神を追い求め、神を獲得し、神を表現するようになるためでした——コロサイ 2:19。
 3. 神の意図は、命の木の路線にあるヨブを得て、ヨブを神の人とすることでした——創 2:9．Ⅰテモテ 6:11．Ⅱテモテ 3:17．エペソ 3:14-21。
- B. ヨブ記は、聖書の六十六巻がただ一つのことのためであることを啓示しています。それは、神がキリストの中で、その霊によって、ご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの命、性質、すべてとなり、わたしたちがキリストを生き、キリストを表現することです。これはわたしたちの生涯を支配する原則であるべきです——ヨブ 10:13．エペソ 3:9．ピリピ 3:8-9．エペソ 1:22-23．2:15．啓 21:2。
- C. この原則の中で生活し働く道は、わたしたちの霊を活用することを通して、その霊によって、その霊と共に、その霊の中で、その霊を通してすべてとなり、すべてを行なうことです——ガラテヤ 5:25．ローマ 8:4．ピリピ 3:3．啓 2:7．22:17 前半。

ノアにおける命の路線——時代を変える生活と働き

聖書：創 6:5-14．ヘブル 11:7

- I．ノアは神を信じ、神と共に歩み、神を喜ばせ、神であるすべてを享受しました：
- A．サタンは人を極みまで腐敗させ、神は彼の定められた御旨のために創造した人を滅ぼすことを決定しました。
 - B．こうして、神は打ち破られたかのようなでした。「しかし、ノア」は主権ある要因を指しており、人に対する神の当初の定められた御旨を遂行し続ける道を、神に提供しました。
 - C．ノアの生活と働きを通して、神は彼の敵に対して勝利を得て、時代を変えました。
- II．ノアの生活は時代を変える生活でした——参照、ピリピ 1:19-21 前半：
- A．時代を変える生活は、父祖たちの敬虔^{けいけん}な道を受け継ぐ生活です：
 - 1．ノアはアダムの救いの道を受け継ぎ、女の子孫としてのキリストの約束と神を満足させる義としてのキリストのおおいとを受けました——創 3:15，20-21．参照、イザヤ 12:2。
 - 2．ノアは、アベルのささげ物の道を受け継ぎました。その道は、キリストをわたしたちの罪のためのいけにえとしてだけでなく、神を喜ばせる礼物として、神にささげることです——創 4:4。
 - 3．ノアは、エノスの道を受け継ぎました。その道は、エホバの御名を呼び求め、彼であるすべてを享受することです——26 節，エレミヤ 33:3．ローマ 10:12．Ⅱテモテ 2:22。
 - 4．ノアは、神と共に歩むというエノクの道を受け継ぎました。その道は、神をわたしたちの中心またすべてとし、神にしたがって、神と共に生き、すべての事を行なうことです——創 5:22-24．ヘブル 11:5-6．Ⅱコリント 5:4，9，14-16．6:1。
 - B．神はノアに、彼が生きていた腐敗した時代の真の状態を見せました——創 6:3，5，11，13．マタイ 24:37-39．Ⅱテモテ 3:1-5。
 - C．『しかし、ノア』はエホバの目に恩恵[恵み]を得た——創 6:8：
 - 1．サタンが力を尽くしてその状況を破壊したとき、常に何人かの人が神の目に恵みを得て、時代を転換させる者となりました——参照、ダニエル 1:8，9:23，10:11，19。
 - 2．創世記の記録の主要な目的は、墮落を見せることではなく、墮落した人のために、神の恵みがどれほど多く行なうことができるかを見せること

です：

- a. 恵みは神ご自身、神の臨在であって、わたしたちによって享受されて、わたしたちのすべてとなり、わたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちのためにすべてを行ないます——ヨハネ 1:14, 16-17. 啓 22:21。
- b. 主を恵みとして享受することは、彼を愛する者と共にあります——エペソ 6:24. ヨハネ 21:15-17。
- c. 三一の神の満ちあふれる供給としての主イエス・キリストの恵みは、わたしたちの人の霊を活用することを通して、わたしたちによって享受されます——ヘブル 10:29 後半. ガラテヤ 6:18. ピリピ 4:23. ピレモン 25 節. II テモテ 4:22。
- d. 神の言葉は恵みの言葉です——使徒 20:32. コロサイ 3:16. 参照、エレミヤ 15:16。
- e. わたしたちは一の立場で聖徒たちと共に集会する中で、手順を経た三一の神を命の恵みとして経験します——詩 133:3. I ペテロ 3:7. 使徒 4:33. 11:23。
- f. わたしたちは苦難と試練のただ中でも、主をわたしたちの増し加わる、すべてに十分な恵みとして経験することができます——II コリント 12:9。
- g. わたしたちは主の恵みの力の中で、彼のために労苦する必要があります——I コリント 15:10, 58. 3:12。
- h. わたしたちは神のさまざまな恵みの良い家令となる必要があります——I ペテロ 4:10. エペソ 3:2. II コリント 1:15. エペソ 4:29。
- i. 恵みの力、恵みの強さ、恵みの命によって、わたしたちは神に対して、また互いに対して正しくあることができます。恵みは義を生み出します——ヘブル 11:7. ローマ 5:17, 21。

Ⅲ. ノアの働きは時代を変える働きでした——I コリント 3:9. II コリント 6:1. マタイ 16:18. I コリント 3:12：

A. 神がノアに与えたのは、すべてを含む啓示、さらに進んだ啓示、箱船を建造する啓示であり、それは神が腐敗した世代を終結させて新しい時代をもたらす道でした：

- 1. 箱船はキリストの予表です(I ペテロ 3:20-21)。このキリストは、個人のキリストであるだけでなく、団体のキリスト、召会、すなわちキリストのからだまた新しい人でもあって、新エルサレムにおいて究極的に完成します(マタイ 16:18. I コリント 12:12. エペソ 2:15-16. コロサイ 3:10-11. 啓 21:2)。

2. 箱船を建造することは、団体のキリストを、建造の材料であるキリストの豊富の要素をもって、神と共に働く人たちが建造することを予表します——Ⅰコリント 3:9-12 前半、エペソ 4:12、2:22。
3. この建造は、キリストを人々の中へと造り込んで、キリストによって彼らを共に建造し、彼らを肉体における神の現れとすることです——Ⅰテモテ 3:15-16：
 - a. わたしたちの働きの極めて重要な事柄は、建造し建造された神を人の中へと供給して、三一の神がご自身を彼らの存在の中へと建造することです——マタイ 16:18、エペソ 2:21-22、3:17 前半、Ⅰコリント 14:4 後半。
 - b. わたしたちは一つの事を実行する必要があります。それは、手順を経て究極的に完成された三一の神を人の中へと供給し、三一の神にご自身を彼らの内なる人の中へと建造していただくことです。わたしたちは、主がわたしたちに教えて、このように働かせてくださるようにと、祈る必要があります——Ⅱコリント 13:14、Ⅰコリント 3:9 前半、10、12、ローマ 11:36。
- B. わたしたちは召会を建造して召会生活の中へと入ることによって、大患難による今日の邪悪な世代に対する神の裁きから救われ、その世代から分離されて、新しい時代、千年期の時代へともたらされます——ヘブル 11:7、マタイ 24:37-39、ルカ 17:26-27。

ダニエルとその仲間に見られる勝利者たちの勝利

聖書：ダニエル第1章—第6章

- I. 主の回復の原則は、「ダニエルとその仲間」(ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤ)に見られます。彼らは勝利者として絶対的に神と一であり、サタンの企みに勝利しました——ダニエル 2:13, 17. 参照、啓 17:14. マタイ 22:14:
- A. ネブカデネザルは、ダニエルとその仲間を悪魔的に誘惑したとき、彼らが神に属していることを示す彼らの名を、彼らを偶像と一にする名に変えました——ダニエル 1:6-7。
 - B. ダニエルの名は「神はわたしの裁き主である」を意味し、ベルテシャザルに変えられました。それは「ベルの王子」、あるいは「ベルの寵愛するもの」を意味します——イザヤ 46:1。
 - C. ハナニヤの名は「ヤハは恵み深く与えた」、あるいは「ヤハの恩恵を受ける」を意味し、シャデラクに変えられました。それは「太陽の神に照らされる」を意味します。
 - D. ミシャエルの名は「だれが神のようであるか？」を意味し、メシャクに変えられました。それは「だれが女神シャクのようになり得るか？」を意味します。
 - E. アザリヤの名は「ヤハは助けた」を意味し、アベデ・ネゴに変えられました。それは「火の神ネゴの忠実なしもべ」を意味します。
- II. ダニエルとその仲間は悪鬼的な飲食に勝利しました——ダニエル第1章:
- A. ネブカデネザルの悪魔的な誘惑は、まず神の失敗した選民の四人の卓越した若い子孫、すなわちダニエルとその三人の仲間をそそのかし、彼の汚れた食物、偶像にささげられた食物にあずからせて、汚されるようにすることでした。
 - B. ダニエルとその仲間がその食物を食べることは、汚れを取り入れ、偶像を取り入れ、こうしてサタンと一になることでした——参照、I コリント 10:19-21。
 - C. ダニエルとその仲間がネブカデネザルの汚れた食物を食べることを拒否し、むしろ野菜を食べることを選んだ時(ダニエル 1:8-16)、原則において、彼らは善悪知識の木を拒絶し(参照、創 3:1-6)、命の木を取ったのであり、それは彼らを神と一にしました(参照、2:9, 16-17)。
 - D. 主の回復は、イエスを食べて召会を建造することの回復です——9, 16-17 節、啓 2:7, 17. 3:20。

- E. わたしたちは主の言葉を食べることによって、また純粋な心で彼を呼び求める人たちと接触し共にいるように心がけることによって、イエスを食べることができます——エレミヤ 15:16. II テモテ 2:22. I コリント 15:33. 箴 13:20。

III. ダニエルとその仲間は、大きな人の像と砕く石(人類歴史の中にある神聖な歴史)を人に見させないようにする悪魔的な隠べいに勝利しました——ダニエル第2章：

- A. 団体のキリストは、石と山、花婿と花嫁、神の息を持つ神の団体の人であり、彼の口から出る息、剣によって反キリストとその軍隊を砕き、殺します——ダニエル 2:34-35, 44-45 節. II テサロニケ 2:8. 啓 19:11-21. 創 11:4-9. 参照、イザヤ 33:22。
- B. キリストは、神の建造の生ける尊い石、土台の石、隅の石、頂石であり、尊さである彼ご自身をわたしたちに注入して、わたしたちを彼の建造のための生ける尊い石へと造り変えます——I ペテロ 2:4-8. イザヤ 28:16. ゼカリヤ 3:9. 4:7, 9-10。

IV. ダニエルとその仲間は、偶像礼拝の誘惑に勝利しました——ダニエル第3章. 参照、マタイ 4:9-10：

- A. わたしたちの再生された霊の中におられる真の神でないものは何であれ、神に置き換わる偶像です。霊の中になく、また霊からでないものは何であれ偶像です——I ヨハネ 5:21。
- B. からだの敵は自己であり、自己は自己の利益、自己を高く上げること、自己の栄光、自己の美、自己の力をもって神に置き換わります。からだの中で、またからだのために、わたしたちは自己を否み、自分自身を宣べ伝えず、キリスト・イエスを主と宣べ伝えます——マタイ 16:24. II コリント 4:5。
- C. ダニエルの仲間は真の殉教の霊を持っていました。彼らは唯一の神である主のために立ち、自分の命を犠牲にし偶像礼拝に反対して、ネブカデネザルの命令によって、燃える炉に投げ込まれました——ダニエル 3:19-23。
- D. ネブカデネザルは炉の中を見た時、四人が火の中を歩いているのを見ました(24-25 節)。第四の者は人の子としての超越したキリストであり、来て彼の三人の苦難を受け迫害された勝利者と共にいて、その火を喜ばしい場所にして、その中を歩き回りました。
- E. 三人の勝利者は、神が彼らを炉から救い出してくださるようにと求める必要はありませんでした(参照、17 節)。人の子としてのキリストは、資格づけられて、あらゆることで神の民に同情することができる方であり(ヘブル 4:15-16)、来て彼らの仲間となり、彼らの苦難の中で彼らを顧み、彼の臨

在によって、彼らの苦難の場所を喜ばしい状態としました。

V. ダニエルとその仲間は、人が天の神による天の支配を見ることを妨げるおおいに勝利しました——ダニエル第4章：

A. キリストを首位とするために神によって選ばれて彼の民となった者たちとして、わたしたちはキリストを首位とする目的のために、神の天的支配の下にいます——ダニエル 4:18, 23-26, 30-32 節. ローマ 8:28-29. コロサイ 1:18 後半. II コリント 10:13, 18. エレミヤ 9:23-24.

B. 「彼は高ぶって歩む者たちを低くすることができる」——ダニエル 4:37 後半。

VI. ダニエルとその仲間は、神の御前で淫蕩にふけり神の聖を冒とくすることの結果に対する無知に勝利しました——第5章：

A. ベルシャザルが、エルサレムの聖なる宮にある神への礼拝のための器を取って、偶像を拝むのに用いたことは、神の聖に対する冒とくでした(4節)。彼はネブカデネザルの経験から学課を学ぶべきでした(4:18-37)。しかしながら、彼は学課を学ばず、その結果、損失を受けました(5:18, 20, 24-31)。

B. 「優れた霊と知識と洞察、夢の解き明かし、なぞ解き、難題[文字どおりには、難局]の解決が……このダニエルの中に見いだされた……」——12 節前半。

C. 「ベルシャザルよ、あなたはこれをすべて知っていながら、心を低くしないで、天の主に向かって自分を高く上げました。そして人々は彼の家の器をあなたの前に持って来て、あなたと貴族たち、あなたの妻たち、そばめたちは、それで酒を飲みました。またあなたは、見ることも聞くことも知ることのできない銀と金、青銅、鉄、木、石の神々を賛美しましたが、あなたの息と、あなたのすべての道がその手にある神を尊びませんでした」——22-23 節, 参照、20 節。

VII. ダニエルとその仲間は、勝利者が忠信に神を礼拝することを禁止するこうかつさに勝利しました——ダニエル第6章：

A. ダニエル書第6章の中心は、神のエコノミーを執行するための人の祈りです。ダニエルは祈りに依り頼んで、人が行なうことのできない事を行ない、人が理解することのできない事を理解しました。祈りによる以外に、神のエコノミーを満たし、成就させる道はありません。これはこの章の内なる秘訣です。

B. ダニエルはエルサレムに向かって窓を開けており、日に三度祈りました。彼の恵み深い祈りを通して、神はイスラエルを彼らの父祖たちの地に連れ戻しました(10 節. 参照、列王上 19:12, 18)。わたしたちの祈りが、キリスト(聖なる地によって予表される)に向かい、神の王国(聖なる都によって

予表される)に向かい、神の家(聖なる宮によって予表される)に向かって、神の永遠のエコノミーの目標とすると、神はわたしたちの祈りを聞かれます——列王上 8:48-49。

©2026 Living Stream Ministry

ヨブと二本の木

聖書：創 2:9, 17, 啓 22:1-2, 14, ヨブ 1:1, 2:3, 42:1-6

I. 神聖な啓示において、二本の木、二つの源、二つの道、二つの原則、二つの終局があります：

A. 二本の木：

1. 命の木が表徴しているのは、人と神の関係における、人にとって命である三一の神です——創 2:9, 詩 36:9 前半。
2. 善悪知識の木が表徴しているのは、神の御前で人の墮落における、人にとって死である悪魔サタン、邪惡な者です——創 2:17。

B. 二つの源：

1. 命の木は、命としての神を追い求めて供給と享受を得る人の源です——ヨハネ 1:4, 15:1。
2. 善悪知識の木は、毒としてのサタンに従って死と永遠の滅びへと至る人の源です——8:44。
3. この二つの源の結果は二つの王国、すなわち神の王国とサタンの王国です——マタイ 21:43, 12:26, コロサイ 1:13。

C. 二つの道：

1. 第一の道は、命の道、すなわち狭められている道であり、人に神を追い求めさせ、神を獲得させ、永遠の命における神を供給として享受させます——マタイ 7:14, 使徒 9:2, 16:17, 18:25-26, II ペテロ 2:15, 21。
2. 第二の道は、死と善悪の道、すなわち幅広い道であり、人をサタンに従わせ、サタンの子供たちとならせます——マタイ 7:13, I ヨハネ 3:10 前半。

D. 二つの原則：

1. 第一の原則は、命の原則、すなわち神に依存する原則です——ヨハネ 15:5, 創 4:4。
2. 第二の原則は、死と善悪の原則、すなわち神から独立する原則です——エレミヤ 17:5-6, 創 4:3。

E. 二つの終局は、人が神との関係で取る二つの道の最終結果です：

1. 神の命の道の終局は、命の水の都、すなわち新エルサレムです——啓 21:2, 10-11, 22:1-2。
2. 死と善悪の道の終局は、火の池です——19:20, 20:10, 14-15, 21:8。

II. 神の意図は、善悪知識の木の路線にあるヨブを得ることではなく、命の木の路線にあるヨブを得ることでした：

- A. ヨブと彼の友の論理は、善悪知識の木の路線にしたがっていました——ヨブ 2:11—32:1。
 - B. ヨブは彼の友のように、正しいか間違っているかの知識にとどまっており、神のエコノミーを知りませんでした——4:7-8。
 - C. ヨブと彼の友は、善悪知識の木の領域にいました。神は彼らをこの領域から救い出して、命の木の領域の中へと入れようとしていました——1:1． 2:3． 19:10。
 - D. ヨブを対処することでの神の目的は、ヨブを善悪の道から命の道に転向させることでした。それは、ヨブが最も満ち満ちた程度にまで神を獲得するためでした——42:1-6。
- III. わたしたちは命の木のビジョン、すなわち、神がキリストの中でわたしたちの食物であることのビジョンを必要とします——創 2:9． 啓 22:1-2， 14：
- A. 命の木が表徴しているのは、三一の神がキリストの中でご自身を、食物の形で彼の選ばれた人の中へと命として分与するということです——創 2:9。
 - B. 命の木は宇宙の中心です：
 - 1. 神の目的によれば、地は宇宙の中心であり、エデンの園は地の中心であり、命の木はエデンの園の中心です。ですから、宇宙は命の木を中心としています。
 - 2. 神と人にとって、命の木よりも中心的で重要なものではありません——3:22． 啓 22:14。
 - C. 新約は、キリストが命の木のしるしの成就であることを啓示しています——ヨハネ 1:4． 15:5。
 - D. ヨハネによる福音書が啓示しているすべてを含むキリストのすべての面は、命の木の結果です——6:48． 8:12． 10:11． 11:25． 14:6。
 - E. 命の木を享受することは、神の贖われた民すべての永遠の分け前となります——啓 22:1-2， 14：
 - 1. 命の木は、神が初めから人に対して意図したことを永遠にわたって成就します——創 1:26． 2:9。
 - 2. 命の木の実は、永遠において神の贖われた者の食物となります。これらの実は絶えず新鮮であり、毎月みのります——啓 22:2。
- IV. わたしたちが再生されたとき、キリストはご自身を命の木としてわたしたちの中へと植えました——ヨハネ 1:12-13． 3:3, 5-6, 15． 11:25． 15:1, 5：
- A. わたしたちは実際の生活において、命の木の路線におらず、善悪知識の木の路線にいるかもしれません——箴 16:25． 21:2。
 - B. ヨブは、倫理の領域にあるものを追い求めていましたが、わたしたちキリ

ストにある信者は、神の領域にあるものを追い求めるべきです—— I コリント 15:28. エペソ 3:16-21。

- C. わたしたちは日常生活において、善悪知識の木の領域に在るべきではなく、命を与える霊の領域に在るべきです—— I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2。
- D. 神の意図は、わたしたちを取り壊し、わたしたちの命と性質としてのご自身をもってわたしたちを再建して、わたしたちが絶対的に彼と一である人となるようにすることです—— II コリント 1:9. 4:14。

©2026 Living Stream Ministry

ヨブに対する神の意図——良い人が神・人となること

聖書：ヨブ 1:1, 8, 2:3, 9, 27:5, 31:6, 42:5-6

- I. 聖書の六十六巻はただ一つの事のためです。それは、神がキリストの中でその霊としてご自身をわたしたちの中へと分与して、わたしたちの命、性質、すべてとなり、わたしたちがキリストを生き、キリストを表現するということです——エペソ 3:16-17 前半、ピリピ 1:21 前半：
- A. これはわたしたちの生活を支配する原則であるべきです——ヨハネ 6:57。
- B. 実行上、これはわたしたちの享受のための、今日の命の木となるべきです——啓 22:14。
- II. ヨブは良い人であり、自分自身の完全さ、正しさ、高潔さを表現しました——ヨブ 27:5, 31:6, 32:1：
- A. 完全であることは、内なる人と関係があり、正しいことは、外なる人と関係があります——1:1。
- B. ヨブは高潔な人でした。高潔さは、完全であることと正しいことの総合計です——2:3, 9, 27:5, 31:6：
1. ヨブに関して、高潔さは彼が何であったかの総合的な表現です。
 2. 性格においてヨブは完全に正しく、倫理において彼は高い水準の高潔さを持っていました。
- C. ヨブは積極面で神を畏れ、消極面で悪から遠ざかっていました——1:1：
1. 神が人を創造したのは、単に人が神を畏れ、何の間違った事も行なわないうためだけではありませんでした。むしろ、神が人をご自身のかたちに、ご自身の姿にしたがって創造したのは、人が神を表現するためでした——創 1:26。
 2. 神を表現することは、神を畏れ悪から遠ざかることよりも高いのです。
 3. ヨブが彼の完全さ、正しさ、高潔さにおいて到達したものは、完全に空虚でした。それは神の定められた御旨を完成せず、神の願いを満足させませんでした。こうして、神はヨブに愛の関心を持ちました——ヨブ 1:6-8, 2:1-3。
- D. 神だけが、ヨブに必要なこと、すなわち彼が内側に神を持っていなかったことを知っていました。ですから、神はヨブが神を獲得し、神を表現して、神の定められた御旨を成就することを願いました——42:5-6。
- III. 神の意図は、ヨブが神・人となり、神の属性において神を表現することでした——ヨブ 22:24-25, 38:1-3：
- A. 神はヨブを別の領域、すなわち神の領域の中へともたらし、ヨブに自分

の完全さ、正しさ、高潔さにおいて到達したものを獲得させるのではなく、神を獲得させるようにしました——42:5-6。

- B. ヨブに対する神の意図は、彼を消耗させ、彼の最高水準の倫理において、彼の到達・成就した完全さと正しさをはぎ取ることでした——31:6。
 - C. 神の意図は、完全さと正しさにおける天然のヨブを取り壊し、神の性質と属性において更新されたヨブを神が建て上げることでした——1:6-8, 2:3-6。
 - D. 神の意図は、ヨブを神の人とならせ、神の具体化であるキリストで満ち、神の豊満とならせて、キリストの中で神を表現させることでした——Ⅰテモテ 6:11, Ⅱテモテ 3:17。
 - E. 神のはぎ取ることと消耗させることはヨブの上で行使されて、ヨブを取り壊しました。それは、神が基礎と道を得て、神ご自身をもって彼を再建し、彼を神・人とならせて、神格においてではなく命と性質において神と同じにし、神を表現させるためでした——エペソ 3:16-21。
- Ⅳ. 神はキリストの中で、人の中へと構成され、人は神の中へと構成され、神と人は共にミングリングされて一つの実体となりました。それは神・人と呼ばれています——マタイ 1:21, 23. ルカ 1:35. テトス 2:13. Ⅰテモテ 2:5:
- A. 多くの神・人、神の多くの子たちは、第一の神・人であるキリストの増し加わり、複製、複写、継続です——ヨハネ 12:24. ヘブル 2:10. ローマ 8:29。
 - B. 神・人は、神の命と性質にあずかる者であり、こうして神の命と性質において神と一になり、神を表現します——ヨハネ 3:15. Ⅱペテロ 1:4. Ⅰコリント 6:17。
 - C. 神・人は、神から生まれて神の子供となり、神の命と性質を持っています——ヨハネ 1:12-13. 3:6:
 - 1. 神・人は、人と神の二つの命、人性と神性の二つの性質を持っています。
 - 2. 神・人は命・人です——Ⅰヨハネ 5:11-13. ローマ 8:2, 6, 10-11。
 - 3. 神・人は金・人です——出 25:11. Ⅰペテロ 1:7. 啓 3:18. 21:18 後半。
 - D. 神・人は神で構成され、神を彼の命、命の供給、すべてとして持っています。こういうわけで、神・人は人であるが神であり、神であるが人です——エペソ 3:16-17 前半。
 - E. 神・人は、新創造であり、キリストの中で神の義です——Ⅱコリント 5:17, 21。
 - F. 神・人は全存在を尽くして、すなわち、心、魂、思い、力を尽くして主を愛します——マルコ 12:30。
 - G. 神・人は肉に信頼しないで、自己を否み、霊を活用してキリストを生きま

す——ピリピ 3:3．マタイ 16:24．Ⅰテモテ 4:7．ピリピ 1:21 前半。

H. 神・人は神の言葉を持つ神の人であり、神の息を吸い込みます——Ⅰテモテ 6:11．Ⅱテモテ 3:16-17。

I. 神・人は、自分が独立した個人ではなく、団体的な神・人(キリストのからだ、一人の新しい人)の一部であることを認識しています——Ⅰコリント 12:12-13．エペソ 4:16．コロサイ 3:10-11。

©2026 Living Stream Ministry